

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州子ども食堂・子どもカフェの拡大とネットワーク便り編纂	
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人NPOホットライン信州 0263-75-8368	
事業区分	(4)安全・安心な地域づくり	
事業タイプ	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり	
総事業費	1,014,947 円 (うち支援金:	789,000 円)

事業内容

安心・安全な地域のコミュニティの居場所(信州子ども食堂・子どもカフェ)を県内に広げるために、各子ども食堂の事例内容をネットワーク便りで発信し、多様性のある居場所(子ども食堂・子どもカフェ)の「学習支援」「食事提供」「悩み相談」等の機能拡充と更に地域を広げるため、目標10カ所が2倍の20ヶ所(全体で50カ所⇒70ヶ所)が増えました。作成した信州ネットワーク便りとガイドブックは、こどもの居場所づくり・子ども食堂を開設する、団体・個人、更には研修会・セミナー等に大いに役立ち活用されました。

- 1 信州子ども食堂ネットワーク拡大
参加予定者 延べ1万7千人 (内子ども8.5千人を含む)
- 2 ネットワーク便りの発行 A4 4P×1,000部 27回
- 3 ネットワーク便り各子ども食堂ガイドブックの発行
A4 64P×500部 ×3ブロック

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 信州子ども食堂ネットワークの拡大70ヶ所
年間開催数目標350回が、結果400回となった。
参加人数延べ1万7千人、幅広い層の地域住民の参加により、子どもを取り巻く問題を地域全体の課題として情報共有、共同での解決する意識の醸成と社会環境の改善に繋がりました。
- 2 信州子ども食堂・子どもカフェの事例が地域への波及効果があり、地域での情報共有、新たな居場所となる子ども食堂・子どもカフェの運営の為のガイドブックとしての子どもの育成と地域の活性化に繋がりました。
- ② A4×4頁/月2回発行 目途で27回発行
- ② まとめガイドブックの冊子
A4⇒64P×500部×3ブロック

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子ども食堂は、「食育」「学び」「学習」「世代交流」「相談」「ケア」等多様性のある課題解決の居場所でもあります。誰もが、居場所と出番(担い手になれる)たまり場でもあります。多くの人々が集う場所として「地域のコミュニティの居場所」福祉の総合拠点「まちのプラットフォーム」にしていくことを目指します。



信州ネットワーク便り



信州ネットワーク便りとガイドブック

【目標・ねらい】

- ①子ども食堂は、「食育」「学び」「学習」「世代交流」「相談」「ケア」等多様性のある課題解決の居場所
- ②誰もが、居場所と出番(担い手になれる)たまり場であること
- ③「地域のコミュニティの居場所」福祉の総合拠点を目標

※自己評価 【A】

【理由】多様性のある居場所(子ども食堂・子どもカフェ)の「学習支援」「食事提供」「悩み相談」等の機能拡充と更に地域を広げるため、目標10カ所が2倍の20ヶ所(全体で50カ所⇒70ヶ所)に拡大したことです。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある